

『あなたはいったい何者？』 エペソ人への手紙1章1～6節 2015.8.16(主日礼拝説教より)

『だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。』

コリント人への手紙第二 5章17節

心理社会的発達理論の『アンデンティティー(の確立・拡散)』とは、『自分は〇〇である／〇〇に属している』の確立を問う。これがないと、どう生きればいいのか…人生の選択場面ですらいつも不安で葛藤することになる。◆あなたは『私は神の子！神に愛され、この人生は神のもの！』との確信があるか？創り主は、恵みと平和の神！私たちに祝福を注がれる方！だと知る時、安心し、感謝と賛美が溢れる。賛美とは、神がどのようなお方かを知り、その神が関わってくださる自分を知ることであり！自分は信仰も弱く、賛美なんて…と思う人に主は言われる。『あなたは幼子と乳飲み子たちの口によって、力を打ち建てられました。それは…敵と復讐する者とをしずめるため…(詩篇 8:2)。』と。「幼子、乳飲み子」は、弱く、乏しい者の代表。そんな無力で小さな者の、素朴で素直で心からの賛美を神様は喜ばれ、慰め支え、敵を黙らせて下さる。◆神の全ての祝福はキリストを通して与えられる。3～14節までに11回、『キリストにあって／彼にあって／この方にあって…』と繰り返される。その『霊的な祝福』は7つある(カッコ内は節)。『選ばれ(4)、神の子とされ(5)、罪が赦され(7)、御心の奥義が知らされ(9)、一致が与えられ(10)、御国が約束され(11)、保証として聖霊が与えられた(13)』。この世の評価は、外面的なことばかり(年齢、学歴、職業、資格、〇〇教会員、信仰歴〇〇年…等々)であり、そんなものは天国とは無関係！キリスト者のアイデンティティーは、『だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。』である。◆田原米子さんは、自殺未遂で両足・左腕を切断、右手3本指になって初めて自分が何者かを知った。神に創られ、愛され、特別な計画を、神と共に歩む素晴らしい人生を知った。あなたも神に愛されていることを知り、その祝福に感謝し、小さな微笑みを与える人になりたい。その時、全ての人間関係も健全化する！